



Fabric Manager Server

Fabric Manager Server は高度な MDS モニタリング機能、トラブルシューティング機能、および設定機能のためのプラットフォームです。他のソフトウェアのインストールは不要です。Fabric Manager Server 機能は Cisco Fabric Manager ソフトウェアに統合されています。

この章の内容は、次のとおりです。

- 「Fabric Manager Server の概要」 (P.3-1)
- 「Fabric Manager Server の機能」 (P.3-1)
- 「Fabric Manager Server のインストールおよび設定」 (P.3-2)
- 「Fabric Manager Server ファブリックの管理」 (P.3-7)
- 「Fabric Manager Server プロパティ ファイル」 (P.3-8)
- 「Fabric Manager Server の変更」 (P.3-9)
- 「サーバ クラスタ処理」 (P.3-12)

Fabric Manager Server の概要

Cisco Fabric Manager Server をコンピュータにインストールすると、一元的な MDS 管理サービスおよびパフォーマンス モニタリングが可能になります。SNMP 操作を使用して、ファブリックの情報を効率的に収集できます。サーバ コンポーネントを含む Cisco Fabric Manager ソフトウェアを使用するためには、ワークステーションに約 60 MB のハードディスク スペースが必要です。Cisco Fabric Manager Server は Windows 2000、Windows 2003、Windows XP、Solaris 8 および 10、および Red Hat Enterprise Linux AS Release 4 で稼動します。

Cisco Fabric Manager Server として設定された各コンピュータは、複数のファイバ チャネル Storage Area Network (SAN; ストレージエリア ネットワーク) を監視できます。1 台の Cisco Fabric Manager Server に最大 16 台のクライアント (デフォルト) を同時に接続できます。Cisco Fabric Manager Server で監視されないファブリック内の MDS スイッチに、Cisco Fabric Manager Client を直接接続することもできます。こうすると、1 台のコンソールから任意の MDS デバイスを管理できます。

Fabric Manager Server の機能

Cisco Fabric Manager Server には次の機能があります。

- **複数のファブリックの管理** : Fabric Manager Server は同じユーザ インターフェイスで複数の物理ファブリックを監視します。この機能により、冗長ファブリックの管理が容易になります。ライセンスが付与された Fabric Manager Server では、すべての設定済みファブリックに関する最新の検出情報が維持されるため、Fabric Manager Client を開くと、デバイス ステータスおよび相互接続をすぐに使用できます。
- **継続的なヘルス モニタリング** : MDS の状態が継続的に監視されるため、前回 Fabric Manager Client を開いたあとに発生したすべてのイベントが取り込まれます。
- **ユーザ プロファイルのローミング** : ライセンスが付与された Fabric Manager Server は、ローミング ユーザ プロファイル機能を使用して、プリファレンスおよびトポロジ マップ レイアウトをサーバに格納します。これにより、ストレージ ネットワークの管理に使用するコンピュータに関係なく、ユーザ インターフェイスの一貫性を保ちます。



(注) Fabric Manager Client および Fabric Manager Server では、同じリリースを使用する必要があります。

Fabric Manager Server のインストールおよび設定



(注) Fabric Manager Server を実行する前に、ファブリック内の各スイッチ、またはリモート Authentication, Authorization, Accounting (AAA; 認証、認可、アカウントिंग) サーバ上に、専用の Fabric Manager 管理ユーザを作成する必要があります。このユーザを使用して、ファブリック トポロジを検出します。「[ファブリックの検出のベスト プラクティス](#)」(P.4-3) を参照してください。

Fabric Manager Server をインストールして、初期設定を行うには、次の手順に従います。

- ステップ 1** ワークステーションに Fabric Manager および Fabric Manager Server をインストールします。「[Fabric Manager Server のインストール](#)」(P.3-2) を参照してください。
- ステップ 2** Fabric Manager にログインします。「[起動パッドを使用した Fabric Manager Client の起動](#)」(P.5-7) を参照してください。
- ステップ 3** ファブリックを継続的に監視するように、Fabric Manager Server を設定します。「[Fabric Manager Server ファブリックの管理](#)」(P.3-7) を参照してください。
- ステップ 4** Fabric Manager Server を介して管理するファブリックごとに、[ステップ 2](#) ~ [ステップ 3](#) を繰り返します。
- ステップ 5** Fabric Manager Web Sever をインストールします。「[Performance Manager の収集機能の確認](#)」(P.3-7) を参照してください。
- ステップ 6** Performance Manager がデータを収集していることを確認します。「[Performance Manager の収集機能の確認](#)」(P.3-7) を参照してください。

Fabric Manager Server のインストール

Fabric Manager をインストールすると、基本バージョンの Fabric Manager Server (ライセンスなし) も一緒にインストールされます。Fabric Manager アイコンをクリックすると、Fabric Manager Server コンポーネントが稼動しているコンピュータの IP アドレスを入力するダイアログが開きます。Fabric Manager Server の IP アドレスを入力するテキスト ボックスが表示されない場合は、[Options] をク

リックして、設定オプション リストを展開します。Fabric Manager Server コンポーネントがローカルマシン上で稼動している場合は、このフィールドを **localhost** のままにします。有効なサーバを指定せずに Fabric Manager を実行しようとする、Fabric Manager Server をローカルで起動するように求めるプロンプトが表示されます。

Windows PC では、Fabric Manager Server はサービスとしてインストールされます。このサービスを管理するには、Microsoft Windows の管理ツールのサービスを使用します。Fabric Manager Server サービスは、デフォルト設定では、Windows PC を再起動するときに自動起動されます。この動作を変更するには、サービスのプロパティを変更します。

Cisco MDS 9000 FabricWare で実行されているスイッチでは、スイッチに同梱されている CD-ROM から Fabric Manager をインストールするか、Cisco.com から Fabric Manager をダウンロードします。

Cisco.com からソフトウェアをダウンロードする場合は、次の Web サイトにアクセスしてください。

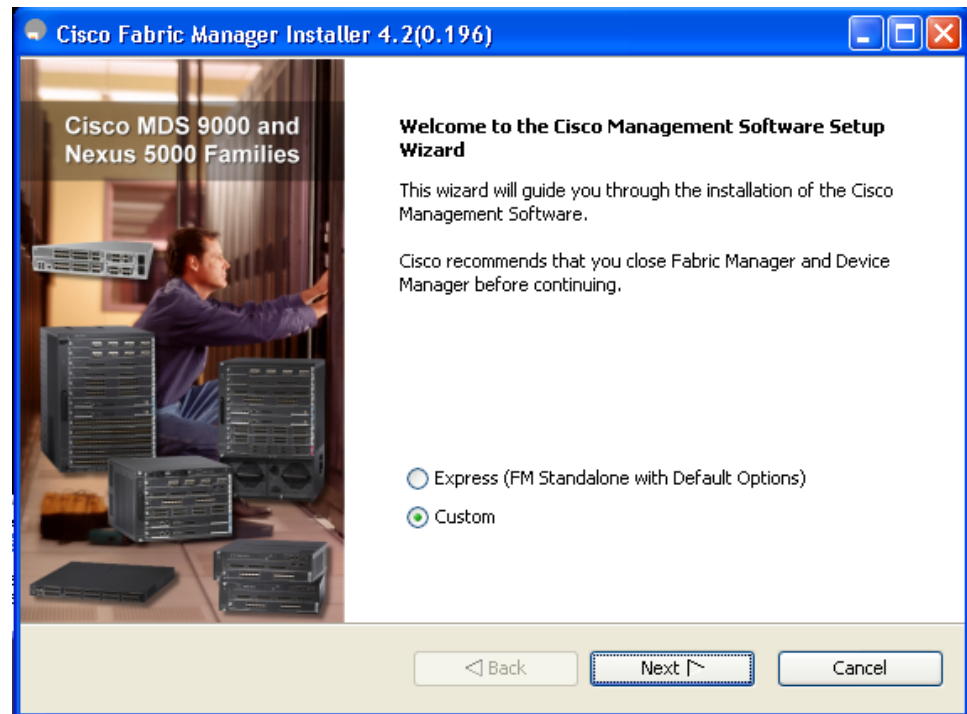
<http://cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/mds-fm>

Windows に Fabric Manager Server をインストールするには、次の手順に従います。

- ステップ 1 [Install Management Software] リンクをクリックします。
- ステップ 2 [Management Software] > [Cisco Fabric Manager] を選択します。
- ステップ 3 [Installing Fabric Manager] リンクをクリックします。
- ステップ 4 [FM Installer] リンクをクリックします。

[Cisco Fabric Manager Installer] ウィンドウに、ウェルカム メッセージが表示されます (図 3-1 を参照)。

図 3-1 管理ソフトウェア セットアップ ウィザードのウェルカム メッセージ

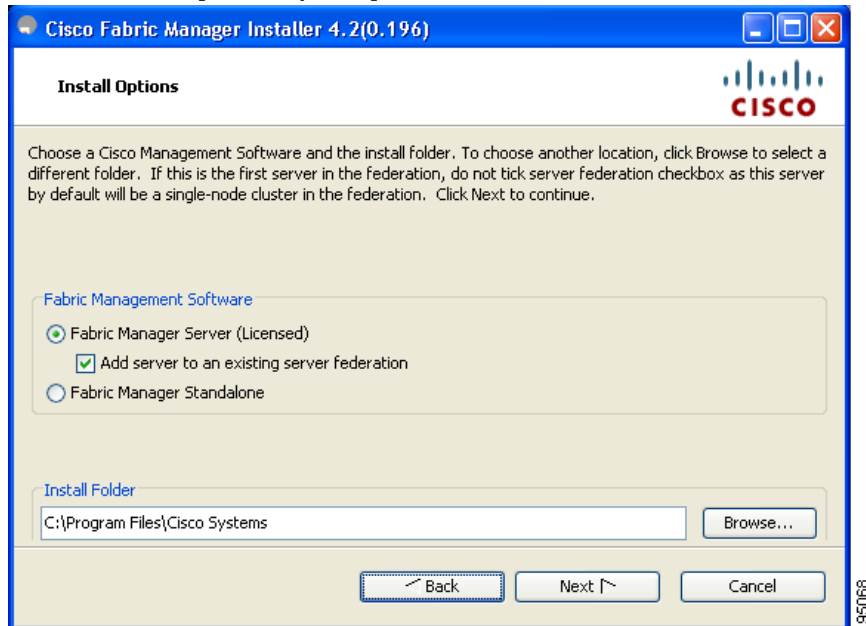


- ステップ 5 [Custom] オプション ボタンをクリックし、[Next] をクリックしてインストールを開始します。

ステップ 6 [I accept the terms of the License Agreement] チェックボックスにチェックを入れ、[Next] をクリックします。

[Install Options] ダイアログボックスが表示されます (図 3-2 を参照)。

図 3-2 [Install Options] ダイアログボックス



ステップ 7 [Fabric Manager Server (Licensed)] オプション ボタンをクリックして、Fabric Manager Server のサーバコンポーネントをインストールします。

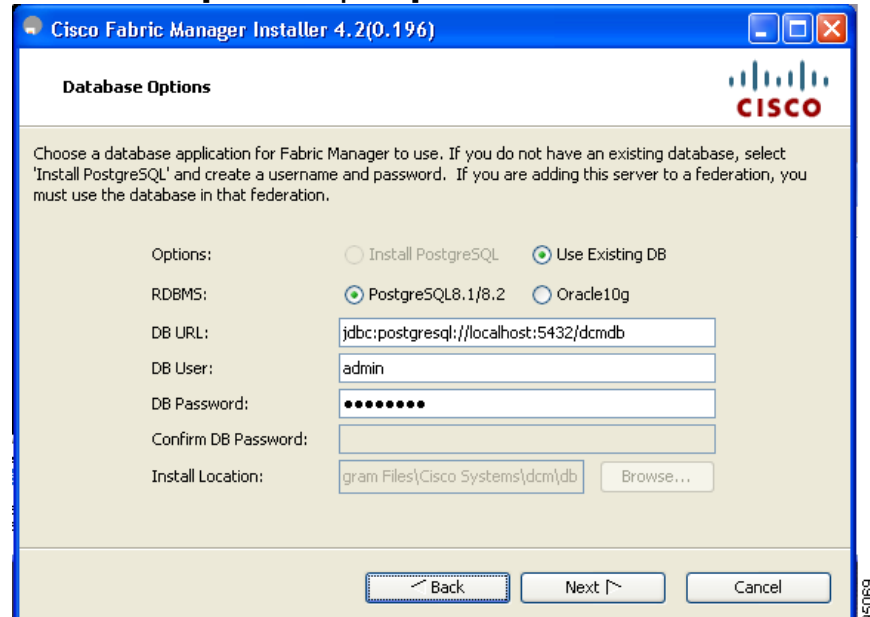
ステップ 8 [Add server to an existing server federation] をクリックしてフェデレーションにサーバを追加します。

ステップ 9 Fabric Manager のインストール用にワークステーション上のフォルダを選択します。Windows では、デフォルトのロケーションは **C:\Program Files\Cisco Systems** です。

ステップ 10 [Next] をクリックします。

[Database Options] ダイアログボックスが表示されます (図 3-3 を参照)。

図 3-3 [Database Options] ダイアログボックス



ステップ 11 [Install PostgreSQL] オプション ボタンまたは [Use existing DB] オプション ボタンをクリックして、使用するデータベースを指定します。

Install PostgreSQL を選択した場合は、デフォルトを受け入れ、パスワードを入力します。PostgreSQL データベースがインストールされます。



(注) PostgreSQL のインストールを選択した場合は、稼動中のすべてのセキュリティ ソフトウェアをディセーブルにする必要があります。そうしないと、一部のフォルダやユーザがインストールされないことがあります。



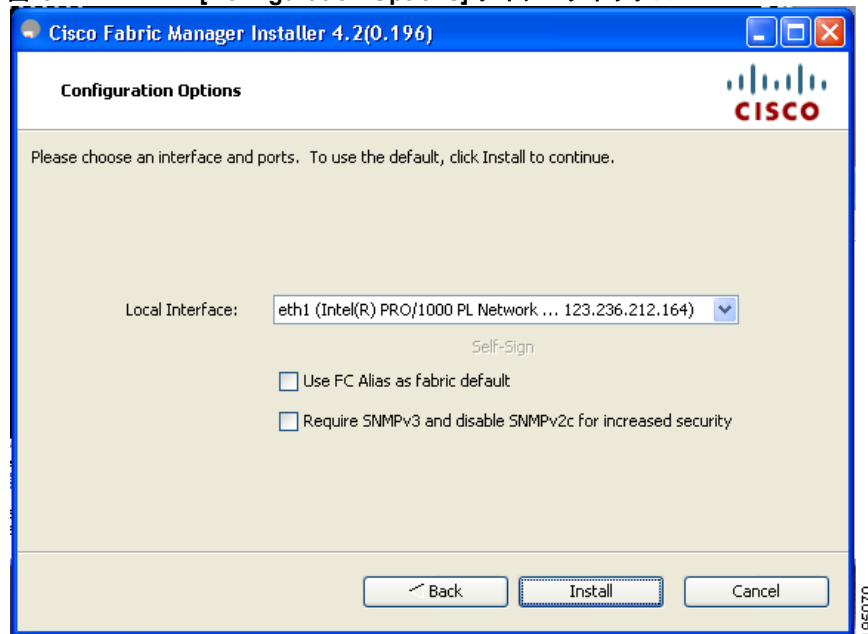
(注) ご使用のシステムで Cygwin が稼動している場合は、PostgreSQL をインストールする前に、環境変数パスから **cygwin/bin** を削除してください。

ステップ 12 [Use existing DB] を選択した場合は、[PostgreSQL 8.1/8.2] オプション ボタンまたは [Oracle10g] オプション ボタンをクリックします。

ステップ 13 [Database Options] ダイアログボックスで、[Next] をクリックします。

図 3-4 で示されるダイアログボックスが表示されます。

図 3-4 [Configuration Options] ダイアログボックス



ステップ 14 [Install] をクリックして、Fabric Manager Server をインストールします。

Fabric Manager Server のライセンスの有無

Fabric Manager をインストールすると、基本バージョンの Fabric Manager Server (ライセンスなし) も一緒にインストールされます。Performance Manager、リモートクライアントサポート、およびファブリックの継続的なモニタリングなどのライセンス機能を取得するには、Fabric Manager Server パッケージを購入して、インストールする必要があります。

ただし、これらのライセンス機能のトライアルバージョンを使用できます。機能のトライアルバージョンをイネーブルにするには、ライセンスを購入した場合と同様に各機能を実行します。この機能が一定期間だけ有効なデモバージョンであることを示すダイアログボックスが表示されます。

いずれかの Fabric Manager Server 機能を評価していて、その機能の評価期間を終了するには、Device Manager を使用します。

Fabric Manager Server でのデータマイグレーション

データベースのマイグレーションは既存のデータベースでだけ実行してください。複数のデータベースのデータをマージするとコリジョンが発生する場合があります。

非クラスタモードのデータベースを初めてクラスタモードにアップグレードする場合、シーケンステーブルの対応する値より大きく、クラスタシーケンス番号の形式がサーバ ID に適した値が、クラスタのシーケンステーブルに事前に入力されています。

Performance Manager の収集機能の確認

Performance Manager の収集機能を 5 分以上実行したあとに、データが収集されたかどうかを確認するには、Fabric Manager で [Performance Manager] > [Reports] を選択します。収集された最初の数個のデータ ポイントが、グラフおよび表形式で表示されます。

Fabric Manager Server ファブリックの管理

Fabric Manager Server ファブリックは、クライアントでそのファブリックが開かれているかどうかにかかわらず、継続的に管理できます。継続的管理の対象であるファブリックは、Fabric Manager Server を起動すると自動的にリロードされ、管理されます。

継続的管理対象のファブリックの選択

Fabric Manager を使用してファブリックを継続的に管理するには、次の手順に従ってください。

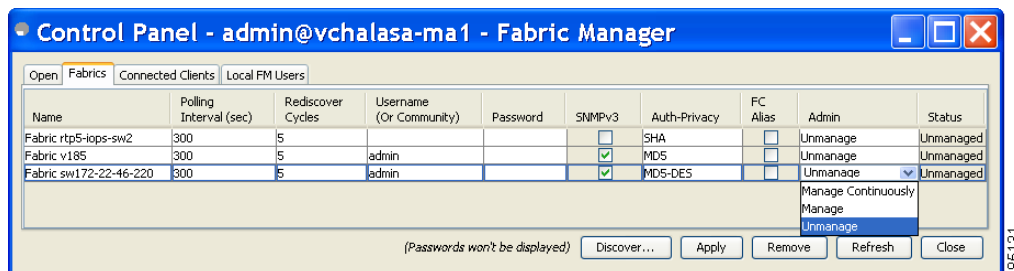
ステップ 1 [Server] > [Admin] を選択します。

[Control Panel] ダイアログボックスの [Fabrics] タブが開きます (図 3-5 を参照)。



(注) [Fabrics] タブにアクセスできるのは、ネットワーク管理者だけです。

図 3-5 [Control Panel] ダイアログボックスの [Fabrics] タブ



(注) ファブリック管理用のユーザ名とパスワードは事前に設定できます。このインスタンスでは、TACACS+ サーバではなく、ローカル スイッチのアカウントを使用する必要があります。

ステップ 2 次のいずれかの Admin オプションを選択します。

- a. [Manage Continuously] : Fabric Manager Server が起動すると自動的にこのファブリックが管理対象となり、このオプションが [Unmanage] に変更されるまで継続して管理されます。
- b. [Manage] : このファブリックを表示する Fabric Manager インスタンスがなくなるまで、Fabric Manager Server によって管理されます。
- c. [Unmanage] : Fabric Manager Server によってこのファブリックの管理が停止されます。

ステップ 3 [Apply] をクリックします。



(注) Performance Manager を使用してこれらのファブリックに関するデータを収集する場合は、ここでフローを設定し、データ収集を定義する必要があります。これらの手順については、[第 8 章「Performance Manager」](#)を参照してください。

Fabric Manager Server プロパティ ファイル

Fabric Manager Server プロパティ ファイル (`MDS 9000server.properties`) には、Fabric Manager Server の機能方法を決定するプロパティ リストが格納されています。このファイルの編集にはテキスト エディタを使用します。プロパティを設定するには、[Admin] タブにある Fabric Manager Web Services GUI (グラフィカル ユーザ インターフェイス) を使用します。



(注) Cisco NX-OS Release 4.1(1b) 以降では、`server.properties` ファイルおよび `AAA.properties` ファイルのパスワードを任意で暗号化できます。

Fabric Manager Server プロパティ ファイルには、次に示す 9 つの一般セクションが含まれています。

- **GENERAL** : サーバの全般的な設定が格納されます。
- **SNMP SPECIFIC** : SNMP 要求、応答、およびトラップの各設定が格納されます。
- **SNMP PROXY SERVER SPECIFIC** : SNMP プロキシ サーバ コンフィギュレーションの設定および TCP ポート指定の設定が格納されます。
- **GLOBAL FABRIC** : 検出やロードなどのファブリックの設定が格納されます。
- **CLIENT SESSION** : サーバにログインできる Fabric Manager Client の設定が格納されます。
- **EVENTS** : Syslog メッセージの設定が格納されます。
- **PERFORMANCE CHART** : Performance Manager のチャート生成の終了時間を定義する設定値が格納されます。
- **EMC CALL HOME** : EMS の指定に基づいて、E メールで XML データとしてトラップを転送するための設定が格納されます。
- **EVENT FORWARD SETUP** : Cisco Fabric Manager Server が記録したイベントを E メールで転送するための設定が格納されます。

次に、Cisco MDS SAN-OS Release 3.x の新規、または変更されたサーバ プロパティを示します。

SNMP Specific

- **snmp.preferTCP** : このオプションを `true` に設定すると、Fabric Manager Server がスイッチと通信するのにデフォルトで使用されるプロトコルは TCP に設定されます。デフォルトでは、`true` が設定されています。TCP がイネーブル化されていないスイッチでは UDP が使用されます。この設定のメリットはスイッチの SNMP ユーザそれぞれに対して TCP セッションが 1 つずつ割り当てられる点です。また、タイムアウトを削減し、スケーラビリティを向上することができます。



(注) このオプションを `false` に設定した場合、Fabric Manager を同様に設定する必要があります。Fabric Manager の `snmp.preferTCP` のデフォルト値は `true` です。

Performance Chart

- **pmchart.currenttime** : Performance Manager のチャート生成の終了時間を指定します。デバッグにだけ使用してください。

EMC Call Home

- **server.callhome.enable** : EMC Call Home をイネーブル化またはディセーブル化します。デフォルト設定は、ディセーブルです。
- **server.callhome.location** : [Location] パラメータを指定します。
- **server.callhome.fromEmail** : [From Email] リストを指定します。
- **server.callhome.recipientEmail** : [recipientEmail] リストを指定します。
- **server.callhome.smtphost** : 発信 E メール SMTP ホスト アドレスを指定します。
- **server.callhome.xmlDir** : XML メッセージ ファイルを保存するパスを指定します。
- **server.callhome.connectType** : サーバにリモート接続する方法を指定します。
- **server.callhome.accessType** : サーバとのリモート通信を確立する方法を指定します。
- **server.callhome.version** : 接続タイプのバージョン番号を指定します。
- **server.callhome.routerIp** : RSC ルータのパブリック IP アドレスを指定します。

Event Forwarding

- **server.forward.event.enable** : イベント フォワーディングをイネーブル化またはディセーブル化します。
- **server.forward.email.fromAddress** : [From Email] リストを指定します。
- **server.forward.email.mailCC** : [CC Email] リストを指定します。
- **server.forward.email.mailBCC** : [BCC Email] リストを指定します。
- **server.forward.email.smtphost** : 発信 E メール SMTP ホスト アドレスを指定します。

Deactivation

- **deactivate.confirm=deactivate** : ストリングを入力して無効化する要求です。

サーバプロパティの設定に関する詳細については、`server.properties` または「Fabric Manager Server のプリファレンスの設定」(P.7-53) を参照してください。



(注) フェデレーションされたサーバ環境では、`server.properties` プロパティ ファイルを変更して Fabric Manager Server のプロパティを変更しないでください。変更するには、Web Client のメニューで [Admin] > [Configure] > [Preferences] を選択します。

Fabric Manager Server の変更

Fabric Manager Release 2.1(2) 以降では、サーバを停止したり再起動することなく、Fabric Manager Server の一部の設定値を変更できます。

- 「Fabric Manager Server ユーザの追加または削除」(P.3-10)
- 「Fabric Manager Server のユーザ名およびパスワードの変更」(P.3-10)
- 「ポーリング時間とファブリック再検出時間の変更」(P.3-11)
- 「デバイス エイリアスまたは FC エイリアスの使用」(P.3-11)

Fabric Manager Server ユーザの追加または削除

Fabric Manager Server ユーザの追加や既存ユーザのパスワードの変更は、Fabric Manager を使用して、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [Control Panel] ダイアログボックスで、[Local FM Users] タブをクリックします（[図 3-5](#)を参照）。Fabric Manager ユーザのリストが表示されます。



(注) ユーザを管理できるのは、ネットワーク管理者だけです。

- ステップ 2** ユーザを追加する場合は [New] をクリックします。既存のユーザのパスワードを変更する場合は [Edit] をクリックします。

[図 3-6](#) のように、[FM User] ダイアログボックスが表示されます。

図 3-6 [FM User] ダイアログボックス

- ステップ 3** 新規ユーザのユーザ名とパスワードを設定し、[Apply] をクリックします。

Fabric Manager を使用して Fabric Manager Server ユーザを削除するには、次の手順に従います。

- ステップ 1** [Control Panel] ダイアログボックスで、[Local FM Users] タブをクリックします（[図 3-5](#)を参照）。Fabric Manager ユーザのリストが表示されます。

- ステップ 2** 削除するユーザ名をクリックします。

- ステップ 3** そのユーザを削除する場合は [Remove] をクリックします。

- ステップ 4** 削除を確認する場合は [Yes] をクリックし、削除を取り消す場合は [No] をクリックします。

Fabric Manager Server のユーザ名およびパスワードの変更

Fabric Manager Client からファブリックへのアクセスに使用するユーザ名とパスワードは、Fabric Manager Server を再起動せずに変更できます。

Fabric Manager Server で使用されるユーザ名またはパスワードを変更するには、次の手順に従います。

-
- ステップ 1** [Server] > [Admin] を選択します。
[Control Panel] ダイアログボックスが表示され、[Fabrics] タブが開きます (図 3-5 を参照)。
- ステップ 2** Fabric Manager Server で監視する各ファブリックの名前またはパスワードを設定します。
- ステップ 3** [Apply] をクリックして、変更を保存します。
-

ポーリング時間とファブリック再検出時間の変更

Fabric Manager Server は、定期的に監視対象のファブリックをポーリングし、一定間隔で (デフォルトは 5 サイクル) フル ファブリックを再検出します。これらの設定値は、Fabric Manager Server を再起動せずに、Fabric Manager Client から変更できます。

Fabric Manager を使用して、Fabric Manager Server が使用するポーリング時間、またはフル ファブリック再検出の設定を変更するには、次の手順に従います。

-
- ステップ 1** [Server] > [Admin] を選択します。
[Control Panel] ダイアログボックスが表示され、[Fabrics] タブが開きます (図 3-5 を参照)。
- ステップ 2** Fabric Manager Server で監視する各ファブリックに対して、**Polling Interval** を設定し、Fabric Manager Server がそのファブリックの要素をポーリングし、そのステータスと統計情報を取得する頻度を指定します。
- ステップ 3** Fabric Manager Server で監視する各ファブリックに対して、**Rediscover Cycles** を設定し、Fabric Manager Server がフル ファブリックを再検出する頻度を指定します。
- ステップ 4** [Apply] をクリックして、変更を保存します。
-

デバイス エイリアスまたは FC エイリアスの使用

Fabric Manager で FC エイリアスとグローバルデバイス エイリアスのどちらを使用するかを、Fabric Manager Server を再起動せずに Fabric Manager Client から変更できます。

Fabric Manager を使用して、Fabric Manager が FC エイリアスまたはグローバル デバイス エイリアスを使用するように変更には、次の手順に従います。

-
- ステップ 1** [Server] > [Admin] を選択します。
[Control Panel] ダイアログボックスが表示され、[Fabrics] タブが開きます (図 3-5 を参照)。
- ステップ 2** グローバル デバイス エイリアスを使用する場合は Fabric Manager Server で監視する各ファブリックに対して、[Device Alias] チェックボックスをオンにし、FC エイリアスを使用する場合はオフにします。
- ステップ 3** [Apply] をクリックして、変更を保存します。
-

サーバクラスタ処理

クラスタ処理またはサーバ フェデレーションは分散システムです。このシステムは相互通信するサーバまたはコンピュータから構成されており、1 つの統合されたコンピューティング リソースとして扱われます。Fabric Manager Server のクラスタ処理では、複数のサーバと同時に通信ことができ、ハイアベイラビリティ、スケーラビリティ、データ管理とクラスタ内で実行されているプログラム管理の簡素化を実現します。サーバクラスタの中核は、サーバにアクセスする Fabric Manager Server、埋め込み Web サーバ、データベースおよび Fabric Manager Client などの複数の機能ユニットから構成されています。

クラスタ内の Fabric Manager Server では、データの格納と取得に同じデータベースを使用します。このデータベースは複数のサーバによって共有され、情報が共有されます。Fabric Manager Client または Fabric Manager Web Client では、マッピング テーブルを使用して Fabric Manager Server からファブリックを開くことができます。ファブリックは論理サーバ間を移動できます。論理サーバは物理マシン間を移動できます。



(注) 既存のクラスタに存在する複数の Fabric Manager Server は同時にアップグレードできません。同時にアップグレードする場合は、そのサーバにある Performance Manager の統計データやその他の情報を移行できません。



(注) フェデレーションされたサーバ環境では、Fabric Manager Servers すべての時間を同期する必要があります。



(注) クラスタ処理またはサーバのフェデレーションは、ライセンスが必要な機能です。Fabric Manager Server のライセンスに関する詳細については、『Cisco MDS 9000 Family NX-OS Licensing Guide』を参照してください。

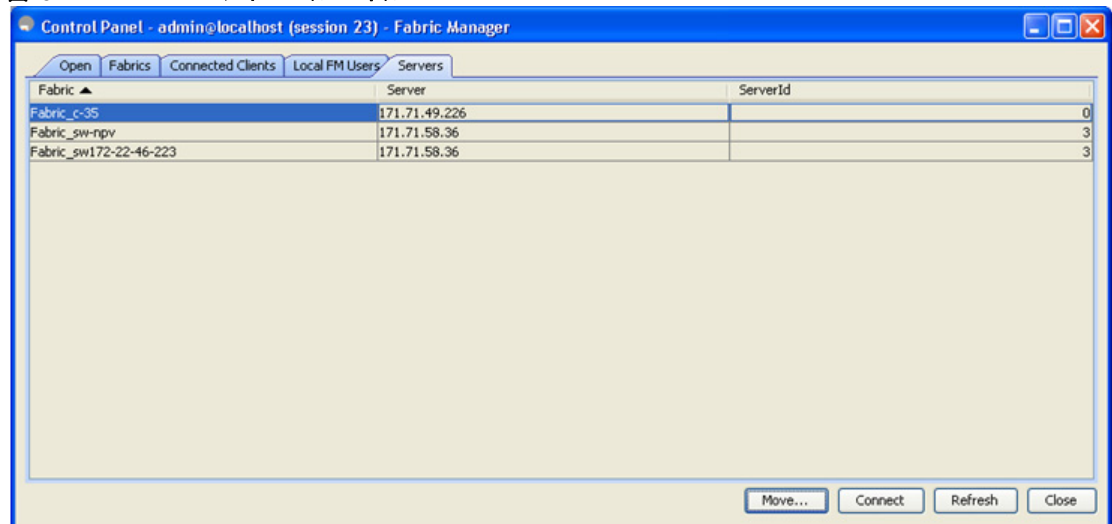
Fabric ID から Server ID へのマッピング

物理サーバの IP アドレスは Fabric Manager Server のインストール時にサーバ ID にマッピングされます。物理サーバの IP アドレスが変更された場合は必ず、Fabric Manager Server で提供されている PLMapping スクリプトを使用して IP アドレスをサーバ ID にマッピングします。ファブリックを開くあるいは検出した場合、ファブリック ID は必ずサーバ ID にマッピングされます。ファブリックを別のサーバ ID に移動するには、コントロール パネルを使用します。

別のサーバにファブリックを移動するには、次の手順に従います。

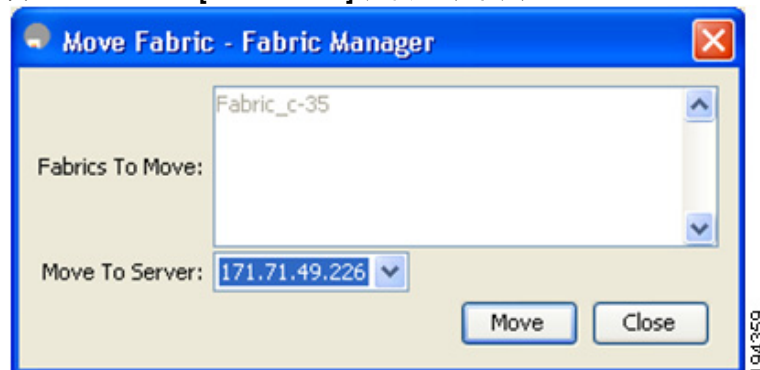
- ステップ 1** [Server] > [Admin] を選択します。
[Control Panel] が表示されます (図 3-7 を参照)。

図 3-7 コントロール パネル



- ステップ 2** 別のサーバに移動するファブリックを選択し、[Move] をクリックします。
[Move Fabric] ダイアログボックスが表示されます (図 3-8 を参照)。

図 3-8 [Move Fabric] ダイアログボックス



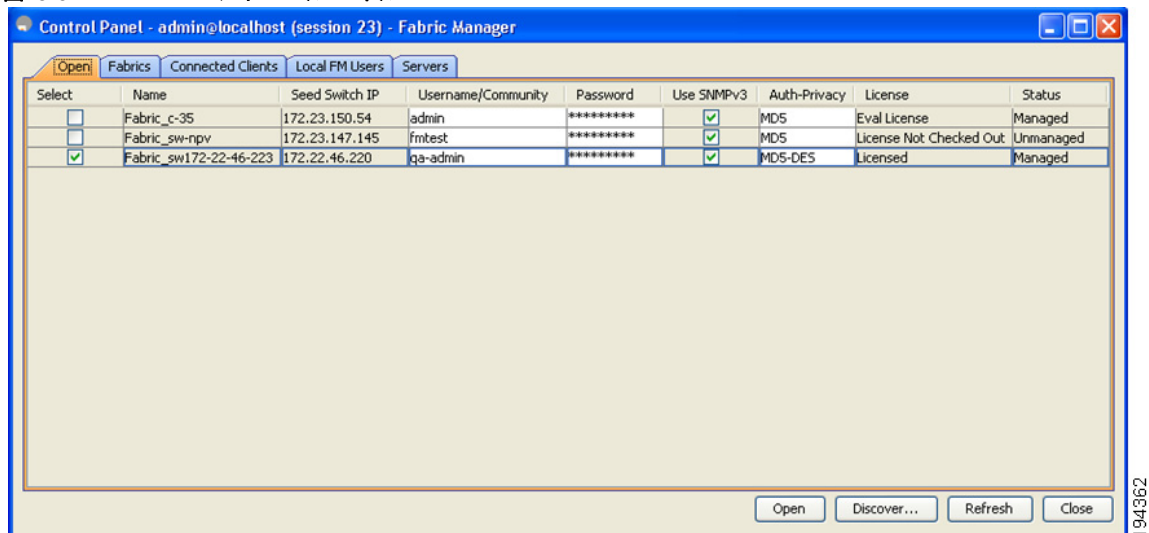
- ステップ 3** [Fabrics to Move] リスト ボックスで選択したファブリックが表示されます。[Move To Server] ドロップダウン リストから移動先のサーバを選択します。
- ステップ 4** [Move] をクリックします。

ファブリックを別のサーバで開く

別のサーバでファブリックを開くには、次の手順に従います。

- ステップ 1** [Server] > [Admin] を選択します。
[Control Panel] が表示されます (図 3-9 を参照)。

図 3-9 コントロール パネル



- ステップ 2** [Discover] をクリックします。
 [Discover New Fabric] ダイアログボックスが表示されます (図 3-10 を参照)。

図 3-10 Discover new Fabric



- ステップ 3** [Seed Switch] リスト ボックスにシード スイッチの IP アドレスを入力します。
ステップ 4 [User Name] フィールドにユーザ名を入力します。
ステップ 5 [Password] フィールドにパスワードを入力します。
ステップ 6 [Auth-Privacy] ドロップダウン リストから適用するプライバシー プロトコルを選択します。
ステップ 7 選択したファブリックを別のサーバで開くには、[Server] ドロップダウン リストからサーバ ID を選択します。
ステップ 8 [Discover] をクリックします。



(注) 他の Fabric Manager Server をフェデレーションに追加中、ファブリックが検出されるとエラーメッセージが表示される場合があります。ファブリックはインストール後またはアップグレード後に検出できます。

クラスタ内のセッションの表示

クラスタ内のセッションを表示するには、次の手順に従います。

- ステップ 1** [Server] > [Admin] を選択します。
- ステップ 2** [Connected Clients] タブをクリックします。
[Control Panel] が表示されます (図 3-11 を参照)。

図 3-11 [Connected Clients]

SessionId	Client	User	Role	Login	Last Access
43	localhost	admin	network-admin	2009/02/06-14:32:06	2009/02/06-14:32:06
23	localhost	admin	network-admin	2009/02/05-11:39:10	2009/02/05-11:39:10
33	171.71.58.117	admin	network-admin	2009/02/05-11:47:06	2009/02/05-11:47:06

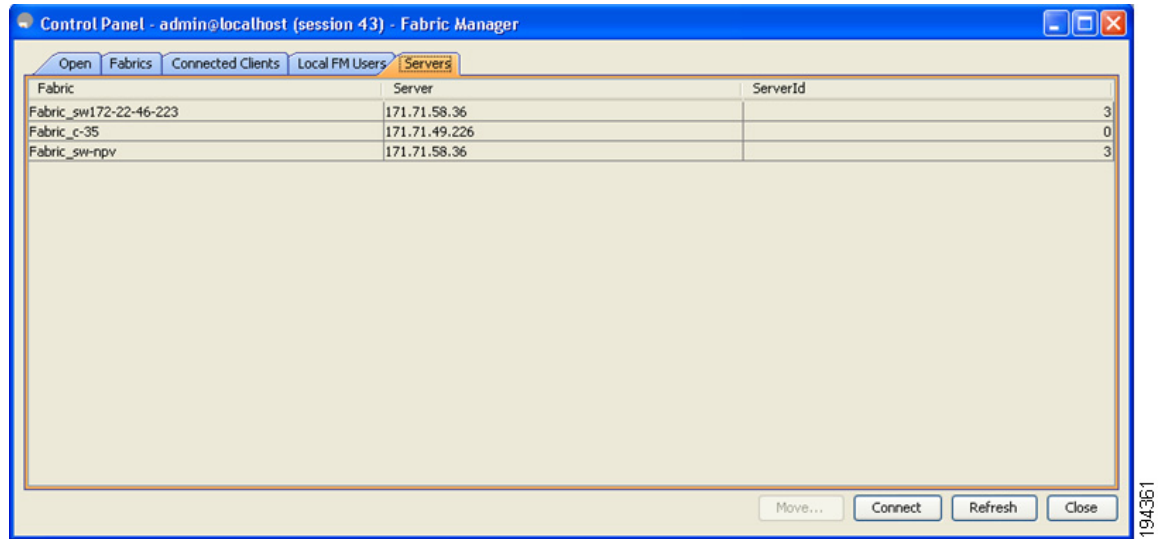
194360

クラスタ内のサーバの表示

クラスタ内のサーバを表示するには、次の手順に従います。

- ステップ 1** [Server] > [Admin] を選択します。
- ステップ 2** [Servers] タブをクリックします。
[Control Panel] が表示されます (図 3-12 を参照)。

図 3-12 [Servers]



194361